

再編出版する ぬまづ昔ばなしの活用による 豊かな地域づくり



【事務局】
〒410-0048 静岡県沼津市新宿町 15 - 5
Mail : info@e-monogatari.art

絵物語はウェブサイトで無料公開中!!
<https://e-monogatari.art>



■ 再編出版する ぬまづ昔ばなし「絵物語 ぬまづ昔ばなし」とは?

地域独自の昔ばなしを聞き集め、昭和49年に沼津市内の先生方（ぬまづ社会科研究会）が「ぬまづ昔ばなし 第一集・第二集」を発行しました。

私たちe-monogatari（えものがたり）は、この本に掲載されているお話を基に22年度より「絵物語ぬまづ昔ばなし」として刊行しています。地元ゆかりのあるアーティストが昔ばなしを絵物語にし、その昔ばなしの舞台である地域の情報も掲載しています。

読んだ後、昔ばなしの舞台に実際に行ってみたくなるような本作りを心がけています。

地域の子ども誰もが、いつでも・どこでも読めるように市立図書館・市内小中学校・地区センター等に無償配布しています。また、ウェブサイトでデジタル版（PDF）を無償公開し、パソコンやスマートフォンなどから誰でも自由に読めるようになっています。

1巻：天狗のすもう 2巻：いちよう観音 3巻：千本松原 4巻：門池の竜 5巻：平戸の地蔵さん（年4巻ペースで刊行中）



事業目的 昔ばなしを通じて地元愛を深める

ぬまづ昔ばなしの活用による青少年の健全育成、地域のつながり強化、シビックプライドの醸成を目的とする事業です。

- ①情報掘り下げ
本誌では伝えきれない物語の舞台となる地域の情報を掘り下げて取材し、ウェブサイトにて公開
- ②語り部アーカイブ
地域の昔ばなしや戦争体験およびその語り部の発掘・整理、地域・地区独自の活動やイベントの発掘・整理
- ③観光ボラ連携
観光ボランティア様と共にぬまづ昔ばなしをもとにしたガイドを作成
- ④動画……読み聞かせ動画の制作・ウェブサイトにて公開

現状と目標 昔ばなしを起点に広がる

地域に伝わる昔ばなしを未来へつなげるために「絵物語ぬまづ昔ばなし」を刊行をし、沼津市内の小中学校・公共施設等に無料配布を行っています。

読み聞かせ活動の1冊に選んでいただいたり、学校図書館で特設コーナーを作っていただいたりと、この書籍の存在を知っていただいた方には好評を得ています。

しかし現状では、まだまだこの書籍の存在が広く認知されていないと痛感しております。刊行したただけでは「沼津の昔ばなし」を未来につなげることはできないのではないかとこの思いから「書籍活用による豊かな地域づくり」という活動を開始しました。

活用には地域の方を巻き込み当事者になってもらい、一人ひとりが自分の住む地域の昔ばなしや情報を未来へ運ぶ語り部になってくれると願っています。

今後は刊行と活用を続けていき「昔ばなし」を起点に多くの方が地域の歴史や情報を学び、自分の住む地域への愛（シビックプライド）が深くなる、そんな事業に育てていきたいです。

活動と成果 昔ばなしをより深く

- ①情報掘り下げ
物語や地域に興味を持たれた人に向け、書籍では掲載しきれなかった情報や沼津が大好きなライターが新たに取材した記事、地域情報などをウェブサイトにてブログ形式で発信しています。
- ②語り部アーカイブ
書籍づくりと並行して地域の方を取材し、後世に残したい地域の昔ばなしや戦争体験、現在行われている地域・地区独自の活動の情報などをアーカイブしています。昔のことを話せる方が減る中で、地域ネットワークと連携して語り部を掘り起こすことができました。
- ③観光ボラ連携
ぬまづ昔ばなしを基にした資料の制作を観光ボランティア様と一緒に検討してきました。観光だけではなく地域の歴史・史跡を知ってもらうガイドを作成し、市内外の多くの人たちに沼津の物語を楽しんでもらえるよう連携していける方向性が見えました。
- ④動画
小さなお子さんや、字を読むことが困難な方、動画のほうが親しみやすい方にも楽しめる媒体として制作しました。読み手にもこだわり、声でお仕事をされている方にご参加いただくことで、より聞きやすい読み聞かせ動画を制作することができました。読み聞かせ動画から書籍を知ってもらうことにも期待できそうです。



振り返り課題 昔ばなしをより多くの方に

- ①情報掘り下げ
アップした情報も見てもらわなくては意味がないので、今後はウェブサイトの周知も行っていきたいと思います。
- ②語り部アーカイブ
地域の方のお話をより広く聞き取る方法を模索し、収集したお話のまとめ方や発信の仕方などを検討していきたいと思っています。
- ③観光ボラ連携
今回は検討のみに留まってしまいましたが、ガイド資料制作を進めていきます。
- ④動画
動画は毎巻制作を続け、より多くの人に視聴してもらえるように周知していきます。

相関図 事業を通してつながった人たち

